

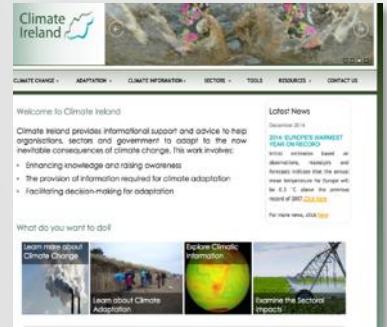
# 地方行政による適応活動と国の適応に関する目標との連携を 支援するクライメート・アイルランドの取り組み

Barry O'Dwyer, James Fitton, Declan Dunne, Dan  
Casey & Jeremy Gault.

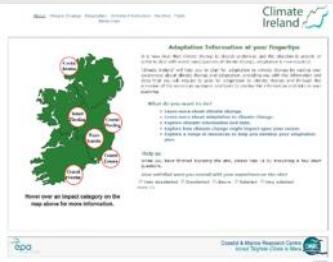
MaREI Centre, ERI, University College Cork, Ireland.

# はじめに: クライメートアイルランド アイルランド適応情報オンラインソース ([HTTPS://WWW.CLIMATEIRELAND.IE](https://www.climateireland.ie))





2011年 ICIP フェーズ1  
システムデザイン



Climate Ireland  TIME TO ADAPT



Roinn Cumarsáide, Gníomhaíthe  
ar son na hAeráide & Comhshaoil  
Department of Communications,  
Climate Action & Environment



2017年以降  
事業開始

2013年 ICIP フェーズ2  
自治体職員

2015年 ICIP フェーズ3  
分野別

2018年 クライメートアイルランド  
運営



Climate  
Ireland 



# 連携とパートナーシップ

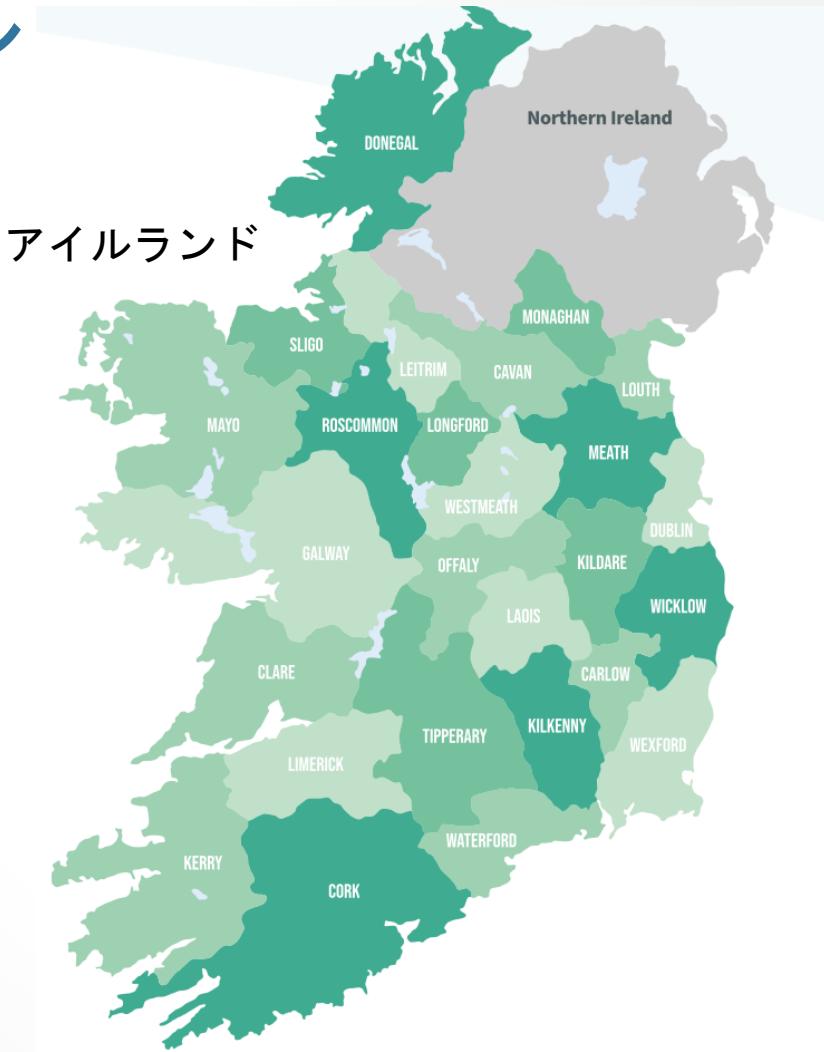
クライメート アイルランドは、連携によるアプローチで、科学に基づく政策に特化した適応に関する意思決定のベストプラクティスを支援する目的で開発されている：

- ・ **科学** – 適応を支援する情報にはどのようなものがあるか (**適応の科学**)?
- ・ **政策** – 国の政策の要件とは? (気候及び気候以外)?
- ・ **実践** – 科学が意思決定の中で主流化するには (**適応の科学**)?



# アイルランドの自治体と気候変動アクション

- ・アイルランドの31の自治体(LAs)は;
  - ・道路、交通、計画、住宅、経済、コミュニティ開発、環境、レクリエーションや福利厚生サービス、消防、選挙管理等の複合的な組織体であり;
  - ・アイルランド適応フレームワークのもと、各自治体は適応戦略を策定することが義務付けられている。
  - ・自治体の計画策定と気候変動活動を支援するために地方気候行動センター（CARO）が4つの地方に設置されている。



# 地方自治体の計画策定を支援：地方自治体適応戦略 策定ガイドライン

- ・アイルランド適応フレームワーク(2018)で義務付けられた各自治体による適応戦略策定の支援を目的とする;
- ・コーク大学MaREIのクライメートアイルランドのチームが環境気候コミュニケーション局の要請により作成;
- ・以下に基づいて作成:
  - ・世界のベストプラクティス;
  - ・適応フレームワークの要件 (2018);
  - ・相談とテスト
- ・適応計画サイクルの5つの反復ステップに基づく;
- ・自治体の意思決定プロセスに整合;
- ・気候変動適応計画策定の課題への対応を目的とする。



# 地方自治体の計画策定を支援：地方自治体適応戦略策定ガイドラインの実践トレーニング



# アイルランド適応フレームワークに対する 自治体の取り組み

- 31の地方自治体適応戦略が2019年9月に発行された
- すべての戦略が地方適応戦略策定ガイドラインに準拠することで、一貫した取り組みを実現;
- クライメートアイルランドはすべての戦略で直接言及されている。

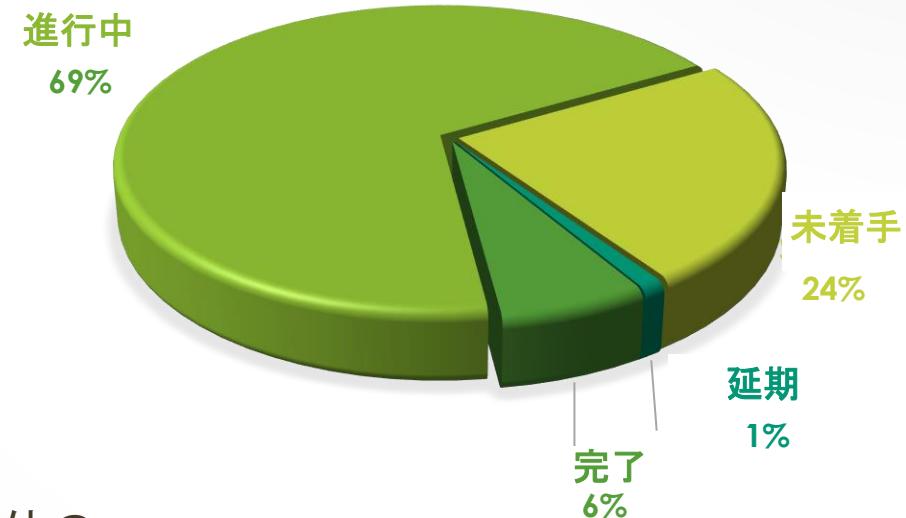


地方自治体の各分野を代表して取り組まれている

# 地方自治体適応戦略実施の進捗

地方自治体は合計して2451の取り組みを採用:

- 完了した取り組み:
  - 推進グループの設置;
  - 各計画や政策への主流化;
  - 事業継続計画策定;
  - 非常事態への対応能力の向上;
  - 影響の観測と見直しの体制;
  - 治水管理と洪水被害の軽減.
- 成功要因:
  - 気候変動アクションチームがすべての自治体に設置;
  - 気候変動影響と適応への意識がすべての自治体で向上;
  - 気候変動への適応は政策アジェンダとなっており、全自治体の事業計画とリスク登録簿に含まれている。



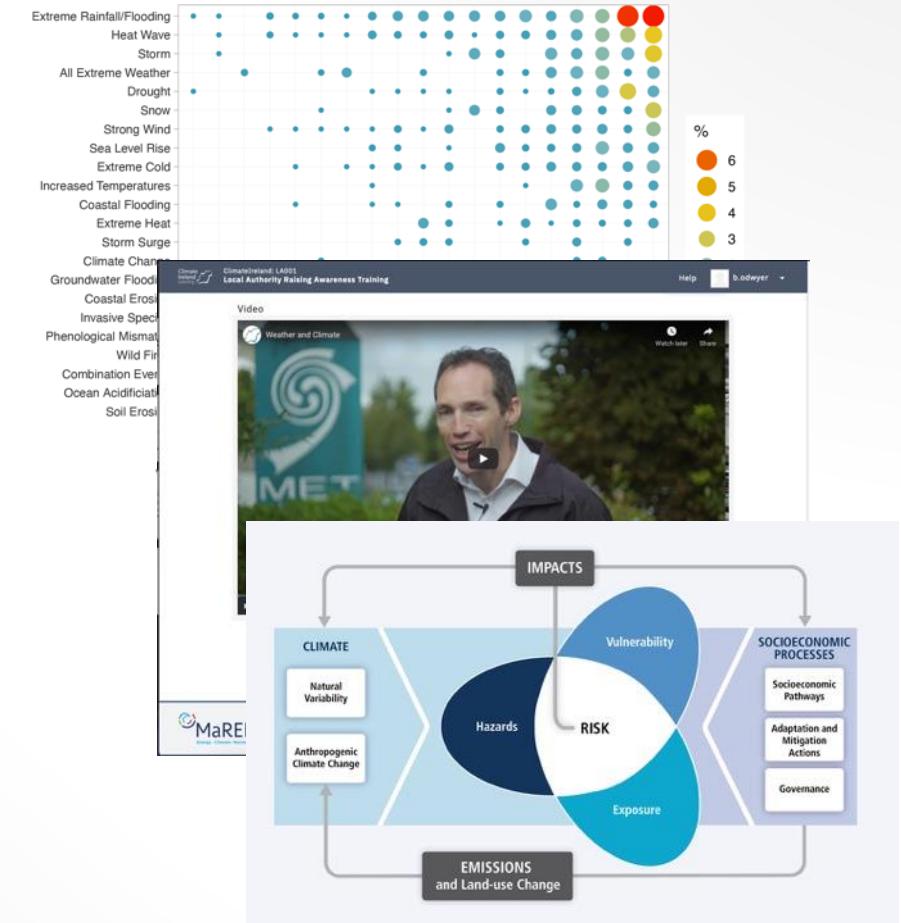
# 進展する気候政策と経験

- ・気候変動適応は学びながら/反復しながら実施するプロセス;
- ・アイルランド適応フレームワーク(2018)と初回適応計画策定は、気候に強靭なアイルランドの構築に向けた重要な第一歩;
- ・初回の計画策定は本質的な基礎を築いたが、この上に積み重ねていくことと、第二回適応計画策定サイクルの準備が求められている。



# 進展する気候政策と経験 発展する支援

- ・地方自治体適応戦略策定ガイドラインの利用状況を評価し、ガイドラインの改定が行われている;
- ・以下の幅広いトレーニング・プログラムを開発:
  - ・全自治体職員(22,000)に対する気候変動アクションの意識啓発;
  - ・気候変動アクションプランチームの能力構築;
  - ・対象を絞った技術トレーニング (e.g., 道路技術者に対するカスタマイズ型トレーニング).
- ・半定量的リスクアセスメントツールを、地方気候変動センターと協働で開発、自治体の財産とインフラの評価を支援。



# おわりに

- ・ アイルランド適応フレームワーク (2018) と初回適応戦略は、各地方と分野の適応計画にとって重要な一歩となった;
- ・ 適応の取り組みを効果的に実施するには、**今回の経験に基づいて適応取り組みの構築と実装を発展させることが必要**;
- ・ これを実施するには、規模を超えた協働と連携、情報収集、エビデンスに基づいた計画策定、リスクアセスメントと主流化の進展が必要;
- ・ 気候変動に関する計画策定は、**都市開発計画策定の一部として考慮すること**、さらに社会、経済、環境における持続可能性と強靭性を考慮することが必須である。



Thank you for your attention

- 🌐 <http://www.climateireland.ie>
- ✉️ [b.odwyer@ucc.ie](mailto:b.odwyer@ucc.ie)
- 🐦 [@ClimateIreland](https://twitter.com/ClimateIreland)